

# 8/28(金) 経営セミナー 講演「進化する中国木材」レポート

講師：中国木材株式会社能代工場

工場長 松浦 健次郎 氏

関心の高さがうかがえます  
質問が相次ぎ、



## 中国木材株式会社能代工場について

- 2024 年 1 月 能代工場稼働
- 2027 年 1 月 バイオマス発電施設稼働予定
- 132,000 坪の広大な敷地にコンビナート  
(製材棟、加工集成材棟、天乾場、原木工場)
- 現従業員数 278 名 (地元雇用 216 名)  
※ 39 才～72 才 女性 12% 外国人 6 名

## 充実した福利厚生

- 18 歳未満の子供に対し、1 人¥15,000、2 人 ¥25,000、3 人目以降は 1 人につき¥20,000 を加算。
- 家を建てた際、120 万円を補助
- インフルエンザワクチン接種を補助

## 発見、学び

### 最適物流体制の追求

- 1 か月で 5 隻のペースで北米から直輸入で原木を仕入れ、大型原木船専用の岸壁を自社内に建設し、「一港積み、一港降ろし」という輸送体制を確立。広島と茨城の工場に週に 1 回船が入る。原木保管ヤードには製材量半月分のストック。
- なぜ海外から運賃をかけ輸入？⇒圧倒的な供給力がある、また日本の山は急峻で伐採コストは北欧の倍かかっている。

### 木材製品等グリーンエネルギー

- バイオマス発電に必要な燃料は工場の副産物 (皮・チップ・オガ粉) を使用する。そこで生産される蒸気や電気は工場で使用する。
- 自家消費以外にも木材チップは製紙会社に、オガ粉は畜産やペレット生産会社へ販売も行う。
- 再生可能な燃料で生産された電気は工業団地内の他社へも販売する。
- 発電をする際、重油と同じカロリーを木質で得るには、15 倍の物量が必要。よって燃料発生源はバイオマス発電に隣接していることが望ましい。

### 集成材

- 木材の“いいところ”を集めたのが集成材 (余りものではない)
- チップとして販売する価値より、製品として販売する方が価値が上がるので、製品歩留は 0.1%でも上げることを目指す
- 必ず国産スギが見直される時代が来ると考え、スギとベイマツによる日本で初めてとなる異樹種集成材の開発に成功

### 国産材への取り組み

- 中国木材の製品は木造住宅の 4 軒に 1 軒の割合で使用されている。能代工場の販売エリアは静岡以東 (関東/東北/北海道)
- 近年はカナダの森林害虫で日本の森林の 1/4 が被害にあい、さらに山火事も頻発し、深刻な問題になっている。
- 海外製品から国産材へと意識が変わってきている。
- 利用できないとされていた曲がり材や欠点材、間伐材までを積極的に活用し、山の資源を上手に活用することで経済価値を高め、森林整備や植林を含めた持続的活性化と温室効果ガス削減に取り組んでいる。
- 大きな木は価値が下がってきているが、中国木材はそれも受け入れている。
- 1 年当たりの森林の平均的な炭素の吸収量は、針葉樹で 60 年生より 20 年生の方が 3 倍吸収する。古い木は製品化し価値を付けて固定化、植林をして循環させることが大事。⇒伐採したら必ず植林
- 工場はほぼ自動化、節が抜けた穴はカメラで検知しロボットで補修する。
- 出来るだけ高く安定して買い続ける。

### 地域貢献

- 地域貢献として雇用を生むこと、トラック運送の際、相乗りしてもらうなど、様々な方法で地域にお返ししたい。
- 積極的に工場見学を受入れ
- 杉の人工林面積が全国 No.1 の秋田県は日本の宝となる。

※一部を抜粋してあります。

良かった点。役立っと思った点。  
参加者アンケートから

省人化のプロセスが分かり易かった。  
想像以上にシステム化(機械化)が進み、安全かつ効率的に進めていることを知ることが出来た。  
中国木材の取り組み、事業内容が良く分かりました。  
素晴らしい企業が能代市にある事を知れました  
物流スキームを知れた事。自動化の進歩具合を知れた事。  
中国木材の会社の内容と、木材が製品までになるのがすごかった。  
木材産業に対する意識が変わった。  
今後の自動化の参考になった。  
原木から製品まで自動化が判った。  
工場内での機械稼働率が印象的だった。  
製材の加工ライン  
製材・集成材の加工方法やコスト面、環境配慮など分かりやすかった。  
伐採→植林 その流れを重視している事。  
全て機械で処理していたので、ビックリしました。  
流通の考え方について、参考となった。  
地域貢献がしっかりされていて素晴らしいと思いました。福利厚生も面白かったです。  
地元企業優先発注  
能代(秋田県)に工場を進出いただいたことによる経済波及効果が素晴らしいと感じました。  
原木の受け入れを止めない！素晴らしい。  
国内トップシェアとしての設備情報  
工場の動画において、ほぼすべての行程が自動化されており、非常に驚きました。  
地域貢献内容を知ることが出来て良かった。  
日本の林業、製材、木材加工業は伸びしろがある。  
コスト制限の取組  
あれだけの設備があっても、海外に比べたら全然及ばない、という事に驚きました。  
輸送コストが重要なこと。  
無駄なく木材を利用していること。  
福利厚生の内容が参考になった。  
1年当たりのCO2吸収量について。  
木材の原木は3Dで測る。



25名の参加者で  
交流会は大盛り上がり！

講演会で質問しきれなかったお話しや、  
新しい出会いとご縁を結ぶ時間となりました。



松浦様から  
アンケート結果に対し、  
コメントをいただきました

やった甲斐があったと思えるコメントが多くホッ  
としました。  
後日、数社から、今後の交流をお願いされました！  
ありがとうございました。